

4投2休

# 私のカルテ (胃がん)



お名前

生年月日 (西暦)      年    月    日

## 私のカルテとは

- 「私のカルテ」の使い方
  - ・ 「私のカルテ」はあなたのことを地域の医療者にお伝えするために使うものです。病院やかかりつけ医を受診する際には、必ず持参しましょう。
  - ・ 受診後には説明内容や結果を診療日記に書いておきましょう。
  - ・ 日常生活の様子についても記録しておきましょう。
  - ・ かかりつけ薬局を利用する際には、お薬手帳と一緒に提出しましょう。
  
- 「私のカルテ」には、以下の内容が綴られています。
  - ① わたしの診療情報
  - ② 手術に関する情報
  - ③ がん地域連携パスとは
  - ④ がん地域連携における医師の役割分担
  - ⑤ わたしの担当者
  - ⑥ 緊急時の対処方法は
  - ⑦ 治療スケジュール
  - ⑧ 日常生活、副作用等に関する情報
  - ⑨ 相談支援センターにご相談ください
  - ⑩ 患者同士の支え合いの場を利用しましょう
  - ⑪ 服薬記録
  - ⑫ わたしの診療日記



## わたしの診療情報

フリガナ 氏名		性別	男 ・ 女
生年月日	(西暦) 年 月 日	血液型	型
住所	〒 -		
電話番号	( ) -		
病名			
これまでの病気の経過			
アレルギー			
病気の説明をしてほしい人			
病気の説明をしてほしくない人			

## 手術に関する情報

手術日	(西暦) 年 月 日
手術時年齢	歳
手術内容	<input type="checkbox"/> 幽門側胃切除 <input type="checkbox"/> 胃全摘術 <input type="checkbox"/> 噴門側胃切除 <input type="checkbox"/> 幽門保存胃切除 <input type="checkbox"/> 胃部分切除 <input type="checkbox"/> その他 ( )
腹腔鏡補助下	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
再建法	<input type="checkbox"/> B-I <input type="checkbox"/> B-II <input type="checkbox"/> Roux-Y <input type="checkbox"/> その他 ( )
合併切除	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 胆のう <input type="checkbox"/> 脾臓 <input type="checkbox"/> その他 ( )
診断	T ( ) N ( ) M ( )
Stage	<input type="checkbox"/> I A <input type="checkbox"/> I B <input type="checkbox"/> II A <input type="checkbox"/> II B <input type="checkbox"/> III A <input type="checkbox"/> III B <input type="checkbox"/> III C



## がん地域連携パスとは

がん地域連携パスとは、地域のかかりつけ医と病院の専門医とが、あなたの診療経過を共有できる診療計画書のことです。これを活用することにより、かかりつけ医と病院の専門医とが役割分担をして、同じ診療方針のもと手厚い診療を受けることができるようになります。

がん地域連携パスは患者さまの診療方針や在宅での療養生活を十分に考慮した上で利用した方が良いと判断された患者さまにだけお勧めします。もちろん、あなたが利用を中止したい場合にはいつでも対応可能です。

あなたも連携パスを活用して、かかりつけ医と病院の専門医の2人の主治医に診てもらいましょう。



## がん地域連携における 医師の役割分担

### ● かかりつけ医の役割

かかりつけ医は、がん治療が円滑に続けられるように、日頃の診療や療養指導を担当します。主な役割は以下の通りです。

- ・ 定期的な診察、血液検査など
- ・ 定期的なお薬の処方
- ・ 痛みや吐き気など各種症状の診察や治療
- ・ 併存する病気の治療



### ● 病院の専門医の役割

病院の専門医は、手術や放射線治療、化学療法、入院治療、定期的な精密検査などを担当します。主な役割は以下の通りです。

- ・ がんの手術、放射線治療、化学療法
- ・ 血液検査、超音波検査、CT検査、内視鏡検査など
- ・ がんに関する専門職の各種指導



## わたしの担当者

### ① 手術をした病院

医療機関名			
住所			
電話番号		担当医	

### ② かかりつけの病院・診療所

医療機関名			
住所			
電話番号		担当医	

### ③ 処方薬局

薬局名			
住所			
電話番号			

### ④ ケアマネジャー

施設名			
電話番号		担当者名	

### ⑤ 訪問看護

施設名			
電話番号		担当者名	

## 緊急時の対処方法は

症状	対応方法
例) 吐き気が強く、食事が全く摂れない	6

### 【連絡】

No.	対応方法	連絡先
1	かかりつけ医に電話	TEL
2	訪問看護に電話	TEL
3	手術した病院に電話	TEL
4	夜間急病センターに電話	TEL

### 【受診】

No.	対応方法	連絡先
5	かかりつけ医に受診	TEL
6	手術した病院に受診	TEL
7	夜間急病センターに受診	TEL

## 治療スケジュール（1～4クール）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	手術した病院	手術した病院	手術した病院	手術した病院	手術した病院	手術した病院
経過	1クール			2クール		
	開始日	2週間毎				
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査	○	○	○	○	○
	腫瘍マーカー	○			○	
	腹部CT	○				
	内視鏡					
備考	服薬指導					

診療施設	手術した病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
経過	3クール			4クール		
	3か月後	3週間毎				
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診チェック	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査	○	○	○	○	○
	腫瘍マーカー	○			○	
	腹部CT	○				
	内視鏡					
備考	服薬指導					

## 治療スケジュール（5～8クール）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	手術した病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
経過	5クール			6クール		
	6か月後	3週間毎				
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査	○	○	○	○	○
	腫瘍マーカー	○			○	
	腹部CT	○				
	内視鏡					
備考						

診療施設	手術した病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	7クール			8クール			1年後
	9か月後	3週間毎					
受診日	/	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査	○	○	○	○	○	
	腫瘍マーカー	○			○		
	腹部CT	○					○
	内視鏡						○
備考							

## 治療スケジュール（2年目）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	1年1か月	1年2か月	1年3か月	1年4か月	1年5か月	1年6か月
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査					
	腫瘍マーカー					
	腹部CT			○		○
	内視鏡					
備考						

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	1年7か月	1年8か月	1年9か月	1年10か月	1年11か月	2年後
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査					
	腫瘍マーカー					
	腹部CT			○		○
	内視鏡					○
備考						

## 治療スケジュール（3年目）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	2年1か月	2年2か月	2年3か月	2年4か月	2年5か月	2年6か月
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					
備考						

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	2年7か月	2年8か月	2年9か月	2年10か月	2年11か月	3年後
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					○
備考						

## 治療スケジュール（4年目）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	3年1か月	3年2か月	3年3か月	3年4か月	3年5か月	3年6か月
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					
備考						

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	3年7か月	3年8か月	3年9か月	3年10か月	3年11か月	4年後
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					○
備考						

# 治療スケジュール（5年目）

○・・・実施 △・・・必要時に実施

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	4年1か月	4年2か月	4年3か月	4年4か月	4年5か月	4年6か月
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					
備考						

診療施設	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	手術した病院
経過	4年7か月	4年8か月	4年9か月	4年10か月	4年11か月	5年後
受診日	/	/	/	/	/	/
診察・問診	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査		○			
	腫瘍マーカー		○			
	腹部CT					○
	内視鏡					○
備考						

memo





## 日常生活について

- 特に意識して気をつけることはありません。
- バランスのとれた食事や十分な休息など、規則正しい生活を心がけましょう。
- お仕事や運動は、体調と相談しながら行いましょう。



## お薬について

### ● お薬の飲み方について

お薬は決められた量を正しく飲むことが大切です。

ティーエスワンは「1日2回、朝食後と夕食後の30分以内」を目安に飲んでください。（食後に飲むことで効きやすいお薬となっています。）

もし飲み忘れてしまった場合、飲み忘れた分はすぐに飲まずに、次の分から飲んでください。2回目分を一緒に飲んでしまうと、副作用が強く現れる可能性があります。飲んだか、飲まなかったか分からない場合は念のため、飲まないようにしてください。

### ● 飲み方のスケジュール

あなたのスケジュールは『4週間飲んで、2週間お休み』となります。



ただし、体調によって変更となる場合がありますので、医師の指示通りに内服してください。

### ● お薬の形について

ティーエスワンはカプセル剤と顆粒剤（コナ薬）の2種類があります。

医療者と相談して飲みやすい形を選ぶようにしてください。

## お薬の飲み合わせについて

ティーエスワンというお薬は飲み合わせに注意が必要です。  
以下のお薬は絶対一緒に飲んではいけない、点滴してはいけないものです。

### ● フッ化ピリミジン系の抗がん剤

・5-FU ・フルツロン ・ユーエフティ ・ゼローダ ・フトラフル  
・ミフロール ・レボホリナート+5-FU ・ロイコボリン+ユーエフティ など

### ● フッ化ピリミジン系の真菌剤

・アンコチル

また、以下のお薬と一緒に飲むことで、その薬の効果が強くなる可能性があります。お薬が処方されている病院の医療者にティーエスワンを飲んでいることを必ず伝えてください。

### ● ワルファリン（血液を固まりにくくするお薬）

→ 出血しやすくなる可能性があります。

### ● フェニトイン（てんかんのお薬）

→ 吐き気や震え、めまいなどが現れる可能性があります。

## お薬の副作用について

ティーエスワンは正常な細胞も攻撃してしまい、副作用が現れることがあります。副作用には自分でわかるものと検査でわかるものがあります。日常生活で気になる症状があれば、申し出るようにしてください。

	飲み始め	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間
検査でわかる副作用			白血球減少 AST、ALT上昇 (肝臓の機能)	貧血 (ヘモグロビン減少) 血小板減少	ビリルビン上昇 (肝臓の機能)
自分でわかる副作用		吐き気	食欲不振 口内炎 発疹	下痢 色素沈着	

- 白血球が少ない時は「体の抵抗力が弱くなっている状態」です。うがい、手洗い、マスクの着用など、感染症予防に努めましょう。38℃以上の発熱が現れた場合、いったん飲むのをやめて医療者に相談してください。
- めまいやふらつきが強い場合、貧血が疑われます。無理せず体を休め、それでもつらい場合は医療者へ連絡してください。
- 吐き気がつらい時は、早めに医療者へ相談してください。食欲がない場合、無理せず食べられそうなもの（口当たりの良いものなど）を口にすると良いでしょう。無理に食べる必要はありませんが、医療者へ相談してください。食事をおいしく感じない（味覚・嗅覚の異常がある）場合も医療者へ相談してください。
- 肝臓の働きが悪くなると疲れやすくなったり、肌や爪や白目が黄色っぽくなります。気がついたときには医療者へ報告してください。

- 口内炎は口の中を清潔に保ち、傷つけないようにして予防します。口内炎ができてしまった場合、「イソジンのようなうがい薬」は治りを悪くすることがあります。医療者へ報告して症状に合わせたうがい薬や塗り薬を使用しましょう。
- 下痢が続く（飲む前に比べて、トイレに行く回数が4回以上増えた）場合、すぐに医療者へ報告してください。脱水症状に注意が必要です。水分をこまめにとるようにしましょう。水分はミネラル（ナトリウムなど）を含んだスポーツドリンクがお勧めです。
- 血小板が少なくなると血が固まりにくくなります。軽くぶつけただけでアザができる、鼻血が出やすくて、日常生活に支障がある場合などがあれば医療者へ報告してください。
- 薬の影響で手足や顔、体に発疹や発赤が現れることがあります。かゆみや痛みを伴わない場合もありますので、注意してください。肌への刺激が少ない衣類を選ぶことも対策の一つです。
- 薬の影響で皮膚や爪が褐色～黒っぽくなることや、爪が変形することがあります。着色は日焼け防止をすることで軽減できることがありますので、日差しが強い時などは帽子や衣類、手袋などで日にあたりすぎないようにしましょう。
- 薬の影響で「目が乾く、充血する、痛い、涙が出やすくなる」といった症状が現れることがあります。日常生活で気になる場合は早めに医療者へ報告しましょう。症状によっては検査や治療を行います。

全ての症状が現れるとは限りません。また、書かれていない症状が現れることもあります。気になることがあれば遠慮せずに医療者へ申し出てください。

## 食生活について

- 食べてはいけないものはありませんが、刺激物は避け、消化の良いものを中心に選びましょう。
- 1回に食べられる食事量は少ないため、捕食（間食）を摂ると良いでしょう。
- 栄養素をバランスよくとれるように意識しましょう。

### ① 消化のよい食品について

- ◆ 下記のものを中心に他の食品もすこしずつ取り入れましょう。
- ◆ 食物繊維の多い食品や固い食品は小さく切ったり、柔らかく調理するようにすると良いでしょう。

#### 主食

おかゆ、軟飯、うどん、ソーメン、やわらかいパン など

#### 主菜

白身魚など脂肪の少ない魚、脂身や皮の少ない鶏肉や豚肉、豆腐、卵 など

#### 副菜

いも、大根、人参、ほうれん草、キャベツ、白菜の葉先、かぶなどの軟らかい野菜

### 調理方法では・・・



順番に徐々に広がっていきましょう。

## ② 刺激の多い食品について

- ◆ 少量であれば問題ない場合もありますが、過剰摂取には気をつけましょう。痛みがあったり、体調が優れない場合には控えたほうがよいでしょう。

アルコール飲料



炭酸飲料



酸味の強い食品



香辛料



カフェイン飲料



温度



## ③ 補食について

- ◆ 1日3回の食事だけで足りない栄養を補食（間食）することで補いましょう。食欲のないときは食べたいものを取り入れることも大切ですが、補食として以下のものもお勧めです。

果物



乳製品



菓子類



新しい食品を試すときは少量ずつ様子を見ながら摂取しましょう。また、夏場は食中毒などにも注意が必要です。術後の食事のレベルアップには個人差があり、もとの食事レベルに近づける期間は様々です。不安や疑問がある場合は、医療者にご相談ください。

## 相談支援センターにご相談ください

「がん相談支援センター」は、全国各地のがん診療連携拠点病院にあり、がんのことや治療法、地域の医療施設、療養を支える仕組み等、がんに関するさまざまな情報を提供したり、質問や相談にお答えしています。

専門の相談員が患者さんや家族の方のお話にじっくり耳を傾け、一人一人に合った解決方法をとともに探します。がんに関する相談ならなんでも構いません。また、かかりつけの病院かどうかも問いません。その病院にかかっていなくても誰でも無料で利用できます。

### 市立函館病院 がん相談支援センター

電話 0138-43-2000

相談時間 月曜日～金曜日（※祝日除く） 8:45～15:00

### 函館五稜郭病院 医療総合サービスセンター がん相談支援室

電話 0138-51-2295

相談時間 月曜日～金曜日（※祝日除く） 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:30

### 国立病院機構 函館病院 がん相談支援センター

電話 0138-51-0229

相談時間 月曜日～金曜日（※祝日除く） 8:30～17:15



















# わたしの診療日記

## <4週投薬 2週休薬>

日付(曜日)	22日目		23日目		24日目		25日目		26日目		27日目		28日目	
	/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )	
服薬量	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
	38℃以上の熱													
めまい、たちくらみ														
からだがだるい														
食欲がない														
吐き気・嘔吐														
下痢														
口内炎														
発疹、かゆみ														
色素沈着														
その他														

日付(曜日)	29日目		30日目		31日目		32日目		33日目		34日目		35日目	
	/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )	
休薬期間														
38℃以上の熱														
めまい、たちくらみ														
からだがだるい														
食欲がない														
吐き気・嘔吐														
下痢														
口内炎														
発疹、かゆみ														
色素沈着														
その他														

日付(曜日)	36日目		37日目		38日目		39日目		40日目		41日目		42日目	
	/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )		/( )	
休薬期間														
38℃以上の熱														
めまい、たちくらみ														
からだがだるい														
食欲がない														
吐き気・嘔吐														
下痢														
口内炎														
発疹、かゆみ														
色素沈着														
その他														

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。(任意)



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



## わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）





# わたしの診療日記

診察日	記録
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

診察を受けたときの記録や診察時に聞くことができなかったこと、  
医療スタッフに伝えたいことなどをご自由にお書きください。（任意）



イラスト：WANPUG

函館市がん地域連携パス協議会  
函館市医師会  
平成 24 年 ● 月 発行